このような方に受講をお勧めします

戦略的SCMの構築・改革は、経営的視点を持って、全社的な立場から推進されなければなりません。そのため、**経営トップの理解**と**優れたプロジェクトリーダーの存在**が不可欠です。情報システムのリーダーがSCMへの造詣を深め、システム構築を進めることも重要です。本コースは、**経営幹部**や**経営企画部門のスタッフ**、**全社的情報システムの企画・構築担当者**に適しています。また、**SCMや物流管理の経験を持ち、課題意識のある経営者**や**中堅幹部**、**システム部門の方々**に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

ストラテジックSCMコース
講演会・受講説明会 録画配信のご案内

この度、日本ロジスティクスシステム協会(JILS)では、本年1月28日に開催した「ストラテジックSCMコース講演会・受講説明会」の録画動画を、希望者に対して事後聴講として配信いたします。

講演会・受講説明会では、ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、コースの狙いや内容についてご説明いたします。また、SCM業務の最前線でご活躍する方に、SCMに関する最新情報などについてご講演いただきます。お申し込み後、事務局より説明会資料と視聴用URLを、登録頂いたメールアドレス宛てにお送りいたします。

本コースの受講をご検討の方やSCMに関する最新動向にご興味がある方は、ぜひご活用ください。

無料

https://www1.logistics.or.jp/education/BA61.html

〈開催形式・費用〉

- 開催形式 録画配信
  (参加方法はお申込後にご案内いたします)
- 視聴費用 無料

講|演|会

オペレーションズ・リサーチ技術を用いた科学的アプローチで挑む課題解決

〈講演者〉 **矢野 夏子** 氏
(株式会社構造計画研究所 オペレーションズ・リサーチ部 リソースマネージメント室 室長)

受|講|説|明|会

ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、本コースのねらい・概要と特色を中心に、本コースの内容と 受講までの流れをご説明します。

〈説明者(コースコーディネーター)〉

市川 隆一 氏
(株式会社サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長)

森川 健 氏
(株式会社野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル)

ストラテジックSCMコース 受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mailにて願書・志望理由書をご提出いただきます。願書・志望理由書は、原則として1月28日に開催する講演会・受講説明会後に受付を開始いたします。

お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

ストラテジックSCM [検索]

〈定員・受講料・開催形式〉

- 定員 30名
- 受講料
  220,000円/1名(税込)
  (協会会員・会員外共通)
- 開催形式
  集合/JILS会議室(東京)
  オンライン/Zoom

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。

集合(東京)
+
オンライン
開催

Strategic SCM Course

ストラテジックSCMコース

後援:経済産業省・国土交通省(以上2省 申請予定)

戦略的視点で学ぶ「最先端のSCM」

講演会・受講説明会
2025年1月28日開催の録画配信中
※視聴無料
※講演会・受講説明会はオンライン形式にて実施予定

31期 2025年春期
2025年4月~2025年9月
〈全20回〉

32期 2025年秋期
2025年10月~2026年3月
〈全20回〉

ストラテジックSCMコースでは我が国のSCMを担うプロフェッショナルを育成します

- **国内外の第一線で活躍**する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた**国際的な水準のカリキュラム**
- 各期30名の**少人数制**による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コースOB・OGによる**日本有数のSCM人材ネットワークの形成**

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

コース代表講師ごあいさつ

SCMの世界ランキング「Supply Chain Top 25」（Gartner社発表）では、2014年のトヨタ24位を最後に日本企業がランクインしていません。それはなぜでしょうか？

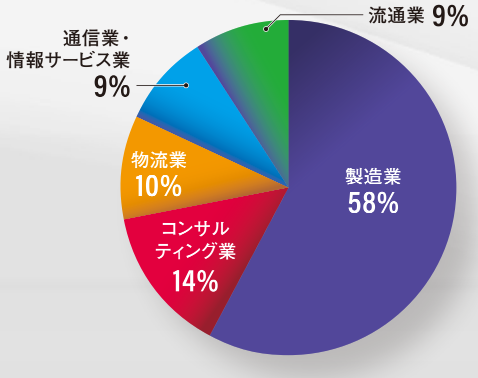
日本企業は現場の見える化や改善力に強みを持つものの、海外企業はそれを十分学んだ上で、“モノ”から“コト”へのビジネス戦略とDXにより、サプライチェーン全体の可視化と顧客価値創造で勝者となっています。VUCA（Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity）時代に対応するためには、戦略的SCMのリスキリング、学び直しが不可欠です。

本講座は、2010年に東京工業大学を中心にSCMの第一線で活躍されている企業の方々や教育研究者の議論から立ち上げられ、JILSへ移管後も、環境変化に対応し常に内容をブラッシュアップさせて参りました。これまで業種や専門を超え約700名の修了生を輩出し、世界に広がるSSFJ（Strategic Supply Chain Management Forum Japan）のネットワークも本講座の価値を構成する揺るぎない財産です。

コロナ終息後、ESG（Environment, Society, Governance）重視の流れ、米中摩擦やウクライナ侵攻による混乱、JIT（Just In Time）の見直し、経済安全保障の促進など、SCMのパラダイムシフトが進行中です。さらに、リスク対応力を高めるだけでなく、それを超えて成長・進化する反脆弱性（Antifragility）の概念も登場しています。こうした変化に対応できる人材こそ、日本の産業競争力・労働生産性向上の鍵で、その育成が喫緊に求められています。「顧客価値を見極め、それを創造する“コト”をデザインし、パートナーと共創・リードする力」が求められます。講師陣と共に、講義・演習・グループ討論・発表を通してSCM力を磨き、実践力を身に着けようではありませんか。

【コース代表講師】東京科学大学名誉教授　圓川　隆夫

受講者の業種比率（2023年度）



受講者の声

「SCMを志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができた」

「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということを、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました」

「SCMの推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です」

カリキュラムの基本的目標：SCM人材の養成

企業が社会的価値と経済的価値の創出のために、経営理念に基づく具体的な製品やサービスを、需要家に対して提供するための戦略を立案し、実行プロセス全体を企画し、管理し、運営するマネジメントをSCMと考える。

我が国の経営の強みを引き出せる戦略的SCMを実現できる人材の養成

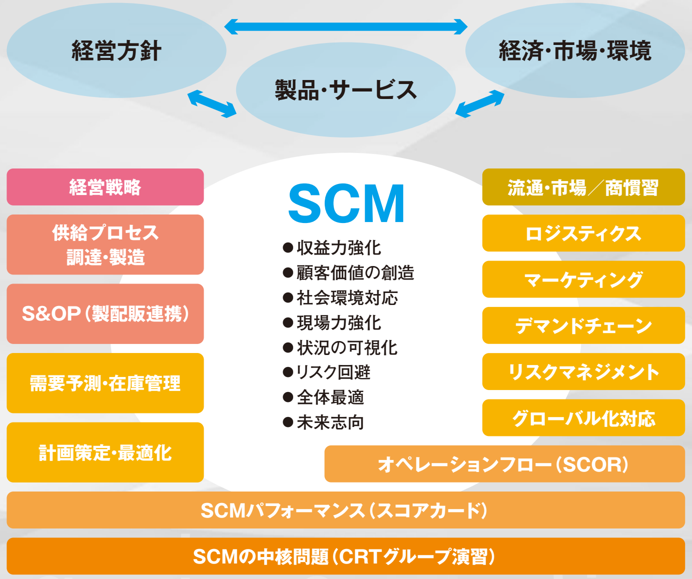
1. 多様な専門家の講義と演習によるSCMを理解する**基礎知識と鳥瞰的な視座**の獲得
2. 受講者同士の交流とグループ演習による**多様性の理解と人的ネットワーク構築**

①
- SCMの概念と経営戦略
- 流通市場とSCM
- サプライチェーンの実行プロセス
- SCMにおける数理技術／ORの活用
- グローバル化時代におけるSCMの課題

②
- 5グループ編成
- グループによる課題演習と発表
- SSFJ活動の活動への参加・講師・修了生との交流
- 外部学会活動や国際資格等の紹介

時代の要請に則した柔軟で進取的なカリキュラムと環境の提供

SCMの課題と当スクールの授業科目体系



2025年度 春期（第31期）ストラテジックSCMコース カリキュラム

講義（20回）　金曜日 19:00〜21:00　課題研究発表会・修了行事　2025年9月13日㈯ 10:30〜17:30

形式　集合：日本ロジスティクスシステム協会会議室（東京）での実施／オンライン：Zoom による実施

日程	形式	回	内容	講師	所属・役職
4/4	集合	①	オリエンテーション／SCMの全体像と授業科目	市川 隆一	㈱サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長
〈SCMの概念と経営戦略〉					
4/11	オンライン	②	SCMと経営そしてサステナビリティ	圓川 隆夫	東京科学大学 名誉教授
4/18	オンライン	③	SCMとオペレーションズマネジメント	圓川 隆夫	東京科学大学 名誉教授
4/25	集合	④	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果: SCM ゲームの体験を通して	河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
5/9	集合	⑤	グローバル戦略とビジネス・ロジスティクスの 新たな方向性について	橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 専任教授
5/16	集合	⑥	SCM実現を阻む根底問題を探る 〜CRTを用いたグループワーク演習その1〜	鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
〈流通市場とSCM〉					
5/23	集合	⑦	消費財流通のチャネル戦略とSCM	市川 隆一	㈱サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長
5/30	オンライン	⑧	ロジスティクスマネジメントとSCM部門の役割	荒木 協和	神戸大学大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー
6/6	オンライン	⑨	マーケティングとSCM	中村 潤	中央大学 国際経営学部 教授 合同会社Space4Labo アドバイザー
6/13	集合	⑩	サプライチェーン可視化とトレーサビリティー	森川 健	㈱野村総合研究所 プリンシパル
6/20	集合	⑪	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新 〜SCM/DCM連携〜	碓井 誠	オピニオン 代表
〈サプライチェーンの実行プロセス〉					
6/27	集合	⑫	SCM性能の見える化 〜CRTを用いたグループワーク演習その2〜	鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
7/4	オンライン	⑬	調達を中心としたサプライチェーン経営戦略と組織能力	垣見 祐二	スリーゼットコンサルティング 代表 和歌山大学 経済学研究科 客員教授
7/11	集合	⑭	サプライチェーンプロセスモデル（SCOR） 〜業務の可視化・分析・改革のイネーブラー〜	調整中	調整中
7/18	集合	⑮	S&OPの基本と実践〜「組織の壁」を乗り越える〜	行本 顕	Operations Management Group LLC. 代表社員、 ASCM認定インストラクター
〈SCMにおける数理技術／ORの活用〉					
7/25	集合	⑯	SCMにおける需要予測・MRP・在庫最適化	野本 真輔	㈱構造計画研究所 製造DX技術担当
8/1	集合	⑰	SCMのDX化と改善事例	野本 真輔	㈱構造計画研究所 製造DX技術担当
8/22	調整中	⑱	SCMにおけるAI・ORの活用 〜科学的手法を経営に生かす〜	伊倉 義郎	㈱サイテック・ジャパン 代表取締役社長 東京工業大学 講師
8/29	調整中	⑲	AI・ORを使った最適化モデルと企業戦略への活用	伊倉 義郎	㈱サイテック・ジャパン 代表取締役社長 東京科学大学 講師
〈総括〉					
9/5	集合	⑳	総論:経営戦略とSCM、SCM改革のための チェンジマネジメント	藤野 直明	㈱野村総合研究所 未来創発センター シニアチーフストラテジスト
〈課題研究発表会・修了行事〉					
9/13（土）	集合	★	課題研究発表会・修了行事	講師陣	講師陣

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります

※所属・役職は2024年10月時点のもの

Strategic SCM Course